ガイヨウ

確認試験及び純度試験の項を次のように改める.

確認試験 本品の粉末(粉砕時に粉末とならない綿毛などは取り除くことができる) 0.5 gにメタノール／水混液(3：2) 5 mLを加え，10分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に薄層クロマトグラフィー用ウンベリフェロン1 mg及び薄層クロマトグラフィー用スコポレチン1 mgをそれぞれメタノール10 mLに溶かし，標準溶液(1)及び標準溶液(2)とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液10 μL，標準溶液(1)及び標準溶液(2) 5 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸(100)混液(20：10：1)を展開溶媒として約7 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに紫外線(主波長365 nm)を照射するとき，試料溶液から得た数個のスポットのうち2個のスポットは，標準溶液(1)及び標準溶液(2)から得た青白色の蛍光を発するスポットと色調及びR_f値が等しい．

システム適合性(紫外線ランプ(主波長365 nm)) 標準溶液(1) 1 mLをとり，メタノールを加えて10 mLとする．この液1 μLにつき，上記の条件で試験を行うとき，青白色の蛍光を発するスポットが検出できることを確認する．

純度試験 アルテミシア・アルギイ 本品の粉末(粉砕時に粉末とならない綿毛などは取り除くことができる) 0.5 gにメタノール／水混液(3：2) 5 mLを加え，10分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を試料溶液とする．別に純度試験用アルテミシア・アルギイ0.5 gにメタノール／水混液(3：2) 5 mLを加え，10分間振り混ぜた後，遠心分離し，上澄液を標準溶液とする．これらの液につき，薄層クロマトグラフィー〈*2.03*〉により試験を行う．試料溶液及び標準溶液10 μLずつを薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする．次に酢酸エチル／ヘキサン／酢酸(100)混液(20：10：1)を展開溶媒として約7 cm展開した後，薄層板を風乾する．これに希硫酸を均等に噴霧し，105℃で5分間加熱した後，紫外線(主波長365 nm)を照射するとき，標準溶液から得た緑色の蛍光を発するスポット(R_f値0.5付近)と等しい位置に試料溶液ではスポットを認めない．